

令和6年度 第2回 日の出小学校学校地域連携運営協議会

日時:令和6年12月13日(金)

9:10~11:00

場所:日の出小学校会議室

○学習発表会参観 9:10~

○学校地域連携運営協議会 10:00~

1 学校長挨拶

2 委嘱状交付

3 本校教育活動の現状報告について

次年度の学校経営方針に向けて、3月までに協議、承認の流れを確認。

前期学校評価から(主な項目とご意見等)

タブレットの効果的な活用

児童は9割活用、保護者も前回より13,14ポイント上がる。理解は上がるがまだ5割。

委員から

・保護者は活用の様子を見ていない。見れば上がる。

外国語の授業について

保護者と児童の意識の乖離について

委員から

・可視化等の解決方法が必要。学校だよりやホームページの工夫等。

約束やきまりを守って生活している

児童と保護者ともに下がっている。

校長から

・朝の登校の遅れ、時間の意識に対する懸念、登校渋りの増加等の課題解決、改善に向けてご意見がほしい。

委員から

・児童、保護者の多様化から個々のきまりの理解がそもそもあるのか。

・以前は6年生に見られたが今は低学年でも見られる。保護者が知っているか、現状を伝える。

- ・登校途中の様子や状況を見られる人の追加の要望や地域支援員が必要。市への要望。
- ・遅刻の児童と登校渋りの児童と同じ視点でいることに対しては違うと伝えていくべき。
- ・紙ベースのプリントをもらうことで状況を把握しやすいこともある。
- ・我が子に対する視点だと厳しくなるのでは。求めるところが違うのでは。
- ・3分類等の周知を教育委員会、市が発信していくと学校がやりやすいのでは。

4 学校地域連携運営協議会の具体的な方向性について

文部科学省の「3分類」に係る取り組みの資料による説明(主な項目とご意見等)

基本的には学校以外が担うべき業務

①学校徴収金の徴収・管理について

校長から

- ・学校徴収金のシステム変更→校外学習等は振込、教材費は現金だったが、現金を持たない仕組みへ。PTA 会費の支払いについては懸念点。

委員から

- ・徴収金のシステムが学校単位ではなく、市単位でできれば学校、保護者にも利便性があるのでは。
- 学校から市への要望は上げている。学校が集めるお金が違うので難しいと言われている。
- ・集金のため月1回程度部活動等ができないので児童の活動が滞る。
- ・PTA 会費も充実した活動であればお金も出すのでは。一般の保護者は PTA の活動を理解しているのか。発信が必要。
- ・協議会からの発信があってもよいのでは。
- ・PTA 会費の集金やシステムの一本化に向けて活動の周知を工夫する必要がある。

②登下校に関する対応

委員から

- ・PTA として登下校について立候補制で立ち当番をいない日もあるが、毎日行っている。
- ・緑の防犯腕章、ボランティアの新規希望が少ない。集団登校がなくなったことも遅刻の意識の1つかもしれない。
- ・信号で大人の声掛けも必要だが、児童からの声掛けも良い。幼児教育の観点から幼稚園でも登園時間への意識をさせていく。

③放課後から夜間における見回り、児童生徒が補導された時の対応

委員から

- ・補導等教員の信頼関係があるから連携していきたい。

④地域ボランティアとの連絡調整

委員から

- ・3 分類の学校以外が担うべき業務について検討する必要がある。地域と連携して行う方法を考える。

学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

①調査・統計等への回答等

委員から

- ・調査・統計は教員以外で。

②校内清掃

校長から

- ・現在教員だけでやっていること→プール清掃等。大方教員が行い、残りを児童と行っている。
- ・通常の清掃は引き続き児童と行っていく。

委員から

- ・道徳的指導の中での清掃。
- ・班活動、グループ活動は日本の学習の良いところ。個人主義の流れが心配。掃除は行う方がよい。